

(第2号様式)

首里東第3747号
令和5年3月16日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立首里東学校
校長 上間 勉
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	7月20日(水)	本校会議室	学校評議委員1人欠席
第2回	12月20日(火)	本校会議室	学校評議委員1人欠席
第3回	3月15日(木)	本校会議室	全員出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各部から提出される学期ごとの反省や課題等に対する指導助言。
- ②授業参観における指導助言。
- ③学校評価アンケート(生徒・保護者・職員)の結果分析から今後の教育活動に対する指導助言。

3 学校評議員の意見

1学期

- ①E-プロジェクトの取り組みはとても良い。昨年度のE-プロの取り組みが那覇市の広報誌に掲載されておりとても良かった。
- ②保育園の保護者が首里東高校の生徒が気持ちよくあいさつしてくれると褒めていた。
- ③地域との関わりも継続して持って行った方が良い。
- ④社会人との関わりを持つことが大切。
- ⑤沖縄で頑張っている経営者の方に講演をしてもらうのも進路実現に向けて良いのではないかと。
- ⑥学校での取り組みを、もっと外に発信する事が大切。

2学期

- ①コロナで貸し付けしたお金を返済していくことになっていく可能生があるため、事業主の保護者は大変な状況にある。このような状況下では生徒が不安定になるのは当然である。
- ②コロナが流行して後の再スタートの時期、ちゃんと見極めてスタートしているのは良い。
- ③生徒が企画運営に携わっているのが、進路決定につながっていくと感じた。
- ④スマホやタブレットが入ってくるので現場でルール作りは大変。また、SNSによってトラブルは多くなっているのは気になる。
- ⑥行事を多く行っているおり、多くの生徒が活躍していることに驚きました。キャリア教育を多く行っている。OBの力を借りて進路実現に向けて取り組んで欲しい。

3学期

- ①生徒達のために色々頑張っており、今年度5月から、保護者がコロナ禍で借り入れた借金の返済が始まる。次年度は家庭内の問題が出てくるため子ども達の学校生活への影響も出てくるため、これ以上に見守って行く必要がある。
- ②ルール作りをぜひやってほしい。年間を通して生徒同士、保護者や生徒を交えた話し合いを計画的に実施して欲しい。
- ③アンケートでSNSについての記述があり、色々な背景の生徒の状況を考えてルールを作っていく必要がある。
- ④学校評価が概ね良好ということは、先生方の頑張りが反映されている。行事やキャリア教育を多く行っており、生徒達が活躍していることに驚いた。OBの力をかりて進路実現に向け取り組んで欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ①E-プロジェクトなど、外部人材を活用したキャリア教育の推進。
- ②早期の進路決定に向けた、本校OB等による講演の実施。
- ③勤怠状況の改善に向け、生徒の基本的な生活習慣や規範意識の確立を図るための支援体制の構築。
- ④ホームページの閲覧数の増加に向け、卒業式等の式典のWeb配信などPTAと連携した取り組みの実施。

5 課題その他

- ①校則の見直しに向け、組織的、計画的に継続して取り組んで行く必要がある。
- ②生徒の自己肯定感を高めるためのキャリア教育を充実、改善を図る。
- ③早期の進路決定に向けた取り組みの工夫、改善。